

IT活用術



今日の情報通信技術は長足の進歩を遂げています。スマートフォンやタブレット端末が普及し、高速のネットワークと常時接続可能な環境が整ってきています。多くの企業において、これまでITは業務の効率化やコスト削減の手段として用いられてきました。しかし、ITの進化は、ビジネス環境の変革を速め、ビジネスの変革が新たなITの進化を加速させつつあります。特に今般のコロナ禍では、多くの企業においてテレワークやWeb会議が広がり、非対面式の接客など、新たな試みがなされました。そうした中で、既存のビジネスや仕事のあり方の延長線上ではなく、新たな価値創造の手段として、AI(人工知能)やIOT(モノのインターネット)などのITを活用し、製品やサービス、ビジネスモデルを変革して飛躍を遂げる企業も出てきています。

本号では「IT活用術」をテーマとして特集を組み、「活用の広がるバーチャルリアリティの未来」「少ないデータでAIが作れる分析手法『スパースモデリング』」「Zoomを活用した日本初のオンラインバスツアー」の3本の論文を取りあげました。

活用分野の広がる バーチャルリアリティの未来

岡田 敦

01 ●

少ないデータでAIが作れる分析手法 『スパースモデリング』 ～AIはディープラーニングだけではない～

藤原 健真

02 ●

Zoomを活用した 日本初のオンラインバスツアー

楠木 泰二郎

03 ●